



栃木県の経済情勢報告

令和5年10月25日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	持ち直している	

（注）5年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	緩やかに回復しつつある	
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
設備投資	5年度は減少見込みとなっている	5年度は増加見込みとなっている	
企業収益	5年度は減益見込みとなっている	5年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

家電大型専門店販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額や乗用車新車登録届出台数等は前年を上回っている。また、宿泊や飲食サービスについては持ち直している。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 新型コロナの5類移行による影響が非常に大きく、外出制限がなくなったことから、外出用の衣料品やそれに付随するバックや小物等の売行きが好調。(百貨店)
- 今年の猛暑の影響により飲料の売上高が増加。仕入価格の上昇により値上げを行ったが、飲料等は必需品であるため値上げによる需要の落ち込みはなく、値上げした分売上高が上昇した。(スーパー)
- 猛暑によりコールドスイーツ等が好調であったほか、人流増加によりホットスナックコーナーも好調となり、全体的な売上高を牽引した。(コンビニ)
- テレワーク関連商品の売上高は下がっているものの、第2弾とちぎ省エネ家電購入応援キャンペーンにより、省エネ家電の売上高が伸びた。(家電量販店)
- 調剤が好調なほか、外出が多くなった影響により日焼け止め等暑さ対策商品が好調。(ドラッグストア)
- 半導体等部品不足の緩和によるメーカーからの供給量増に伴い売上高も増加している。(自動車販売)
- 4月に値上げを行った影響から値上げ当初は客数の伸びが鈍ったものの、足下においては値上げの影響は見られず客数が伸びている。(飲食)
- 新型コロナの5類移行後、首都圏からの個人客やバスツアー等の団体客が増えてきている。(宿泊)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、輸送機械等が低下している一方、化学や金属製品等が上昇しているなど、持ち直しつつある。

- 中国向けにおいては需要が低迷しているものの、国内や欧米向けの需要が高止まりの状況にあることから、足下では生産量を増やして対応している。(輸送機械)
- 国内需要が回復しつつあることから、生産量が増加傾向にある。(化学)
- 取引先において半導体等部品不足の状況が緩和しつつあることにより、生産量が増加している。(金属製品)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率、新規求人数ともに底堅く推移しており、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 各企業で技術者の取り合いとなっていることもあり、給与に様々なインセンティブを付けているが、若い非正規社員はすぐ辞めてしまうケースもある。(製造業)
- 生産量の増加により製造現場の人手が不足しており、積極的な募集をしている。(製造業)
- アルバイトを募集してもなかなか集まらず、戻ってきた客足に対応できなくなることを懸念している。(飲食)

■ 設備投資 「5年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年7~9月期

- 5年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比12.8%の増加見込み、非製造業では同20.9%の減少見込みとなっており、全産業では同0.9%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「5年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」5年7~9月期

- 5年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比5.3%、非製造業では同9.7%の減益見込みとなっており、全体では同6.5%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年7~9月期

- 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、5年10~12月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、市町は前年を上回っているものの、国、県はいずれも前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

■ 企業倒産 「件数は前年を上回っているものの、負債総額は前年を下回っている」



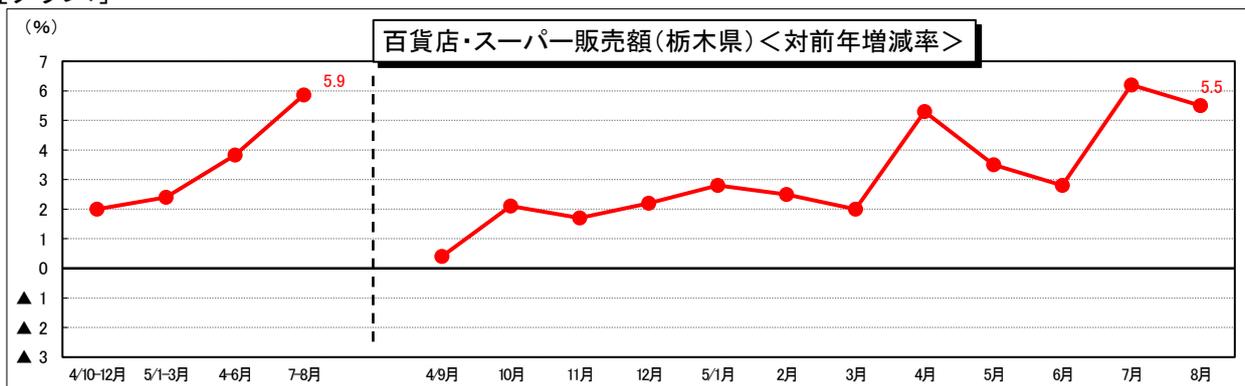
栃木県の経済情勢報告

資料編

1. 個人消費

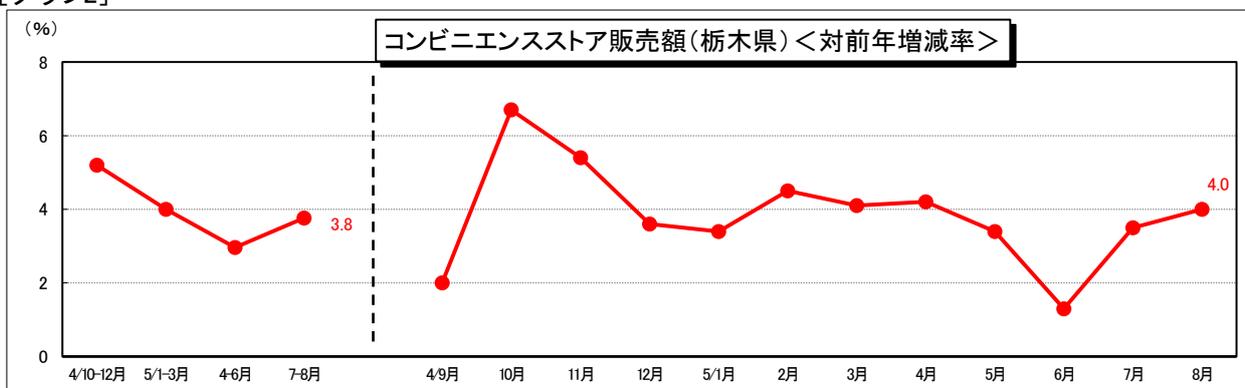
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



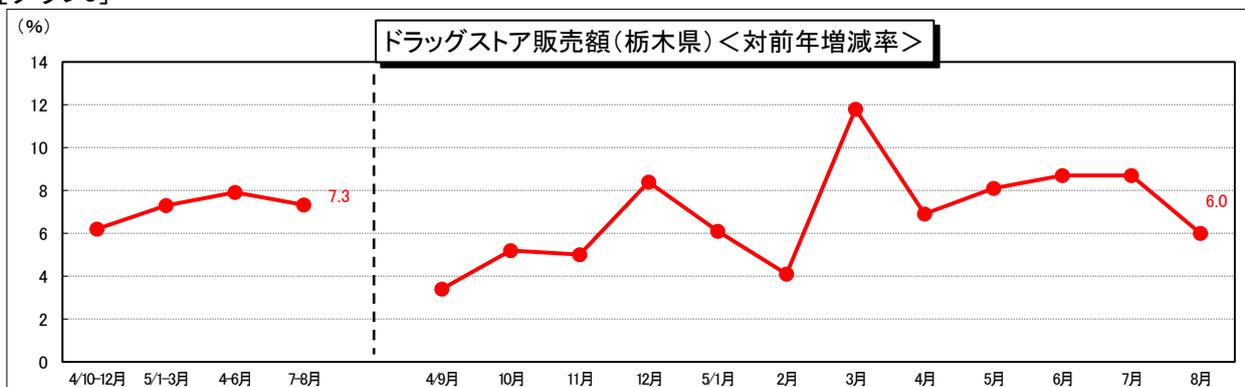
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



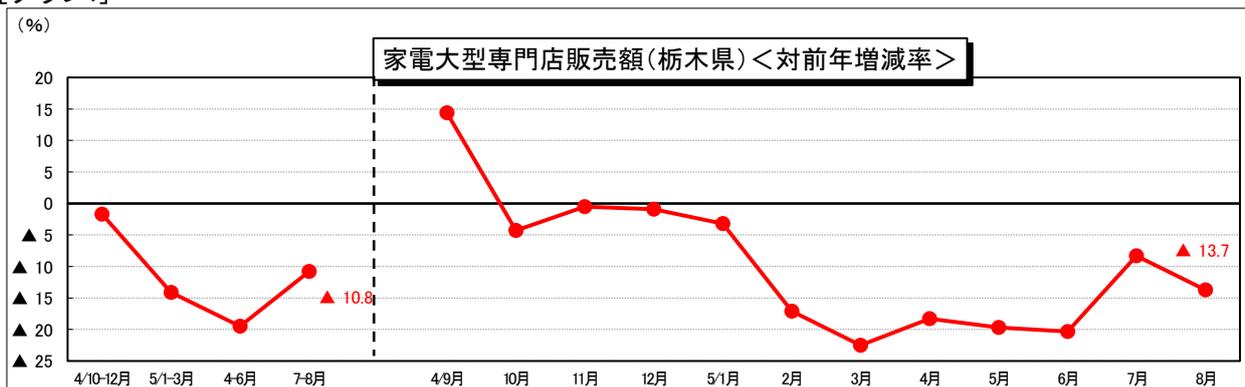
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



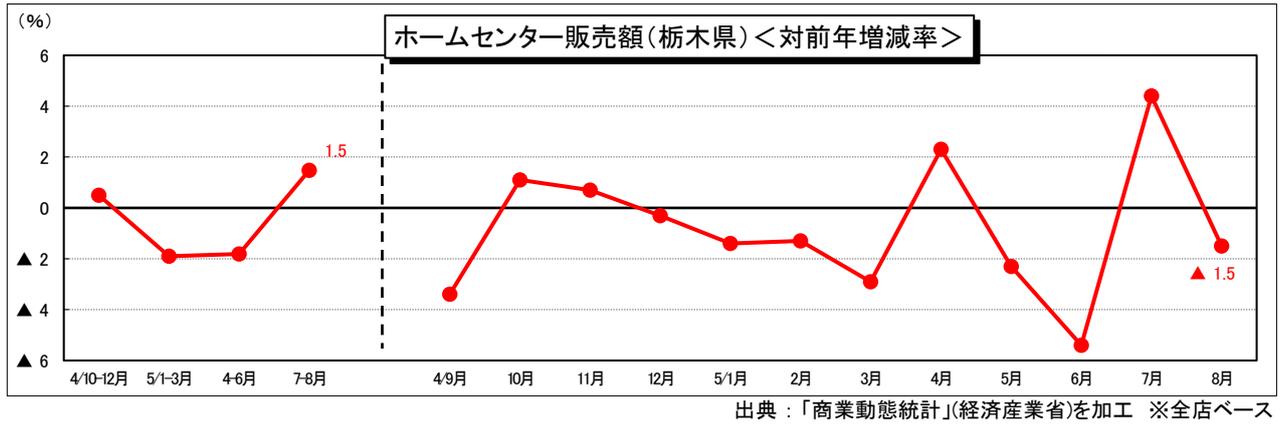
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]

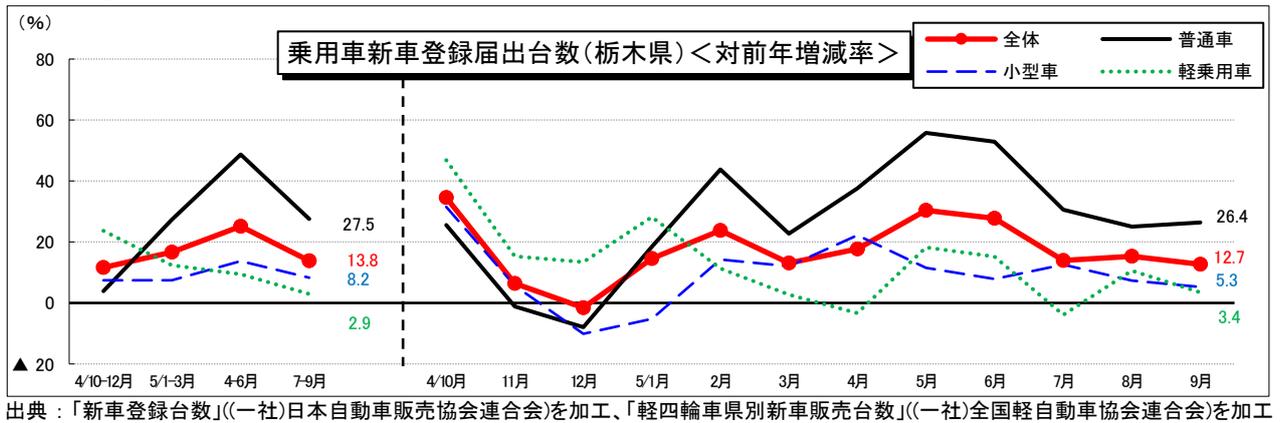


出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



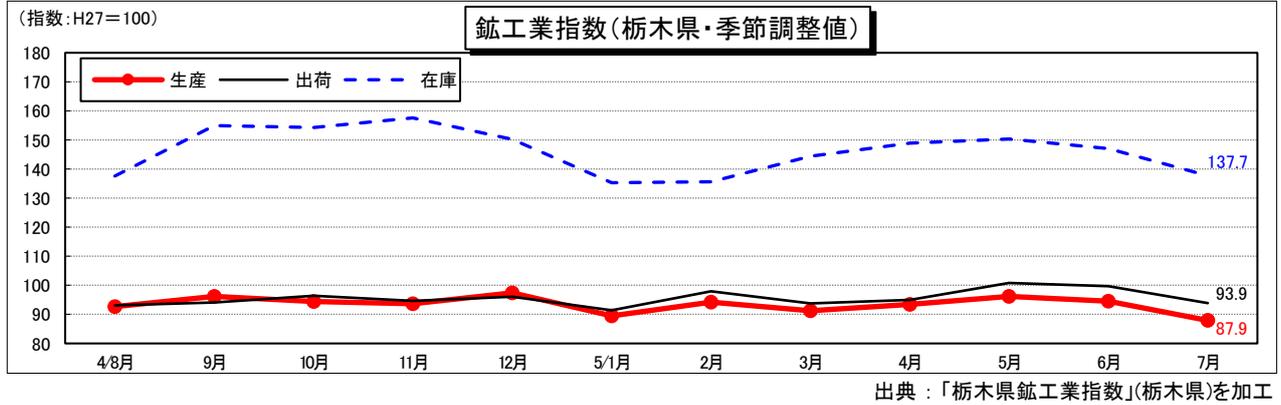
[グラフ6]



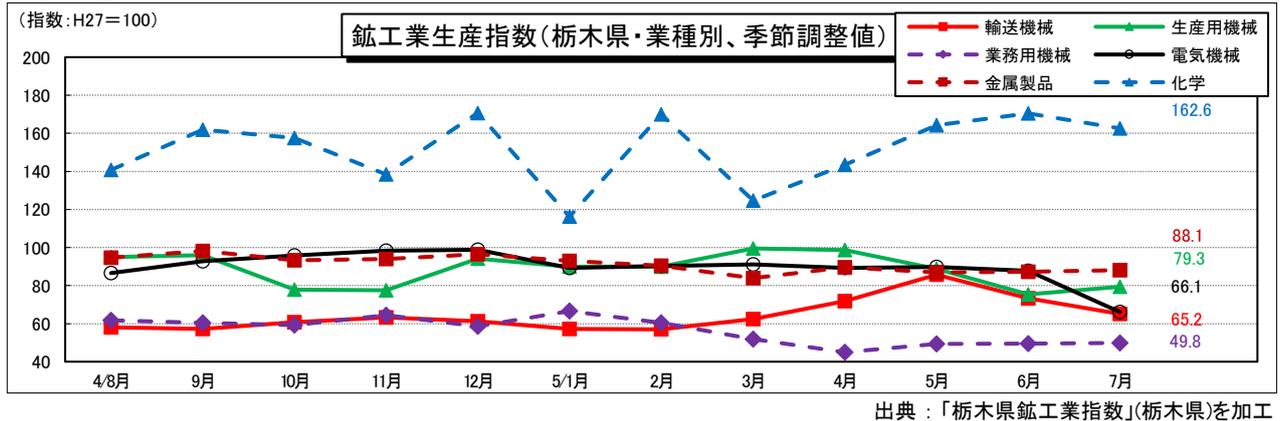
2. 生産活動

持ち直しつつある

[グラフ7]



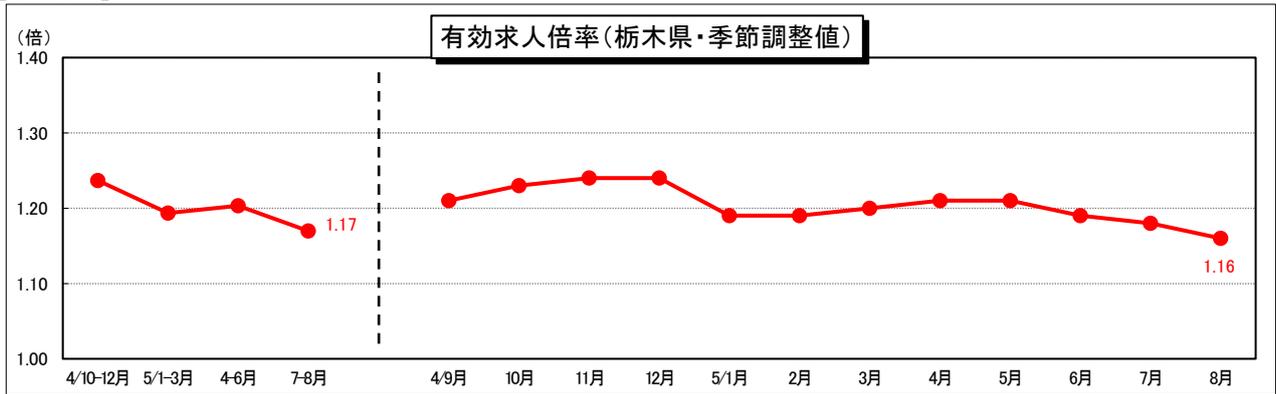
[グラフ8]



3. 雇用情勢

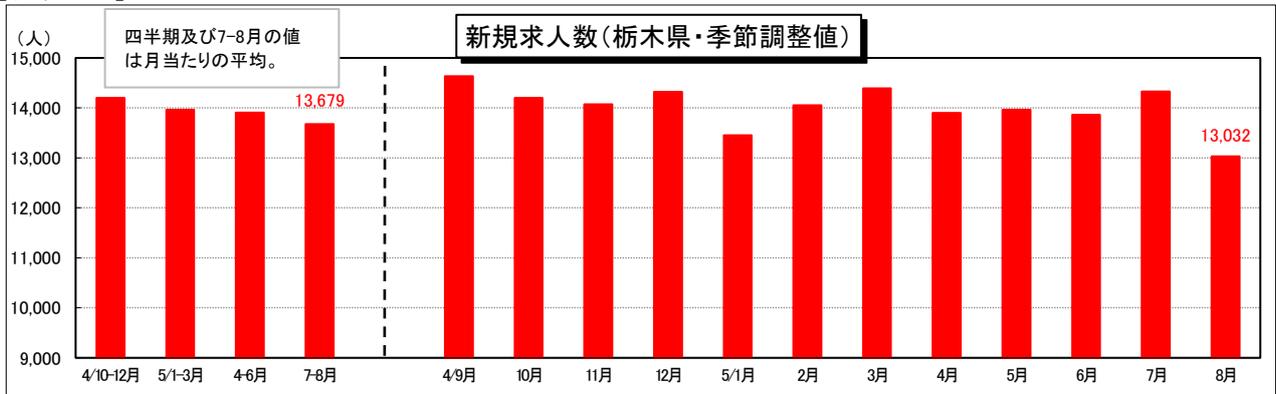
緩やかに持ち直している

[グラフ9]



出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工 ※新規学卒者を除きパートタイムを含む

[グラフ10]

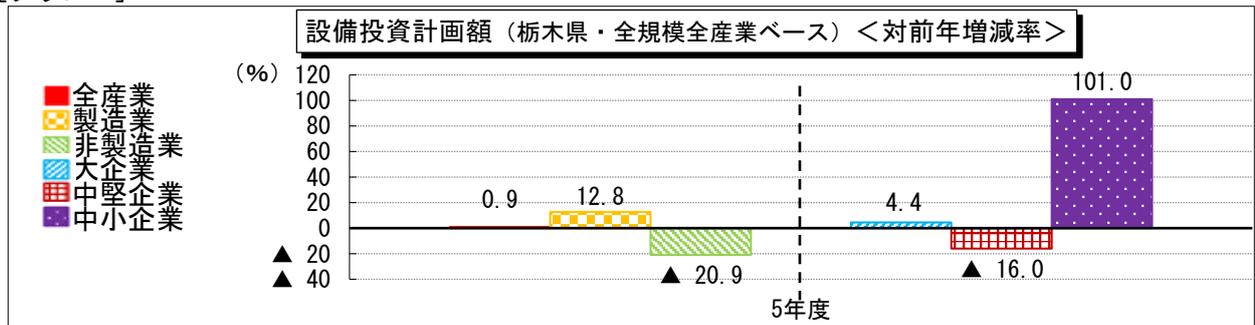


出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工 ※新規学卒者を除きパートタイムを含む

4. 設備投資

5年度は増加見込みとなっている

[グラフ11]

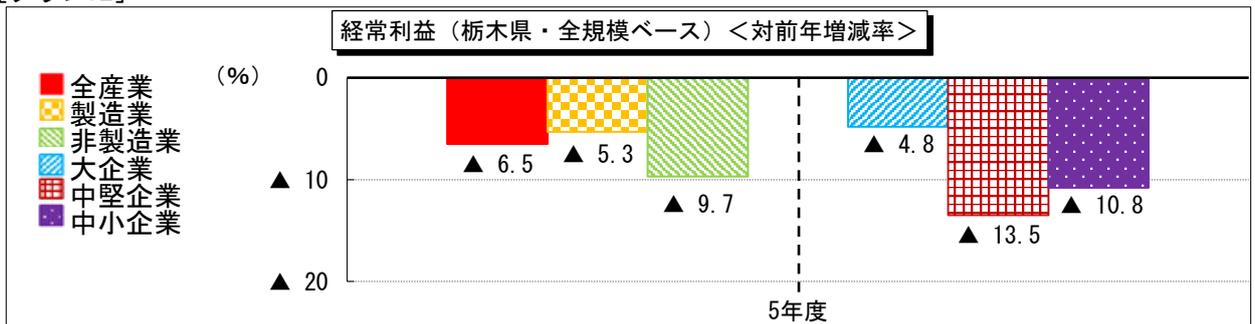


出典：「法人企業景気予測調査(令和5年7~9月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

5. 企業収益

5年度は減益見込みとなっている

[グラフ12]

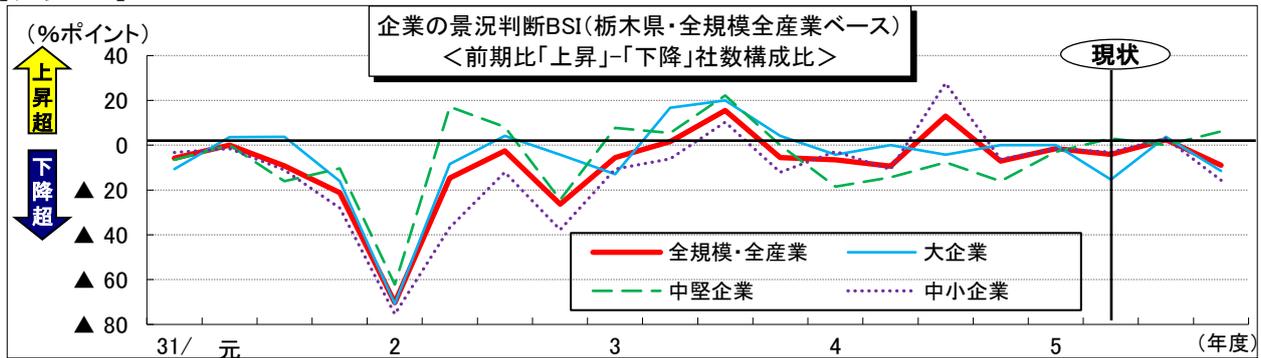


出典：「法人企業景気予測調査(令和5年7~9月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

6. 企業の景況感

「下降」超となっている

[グラフ13]

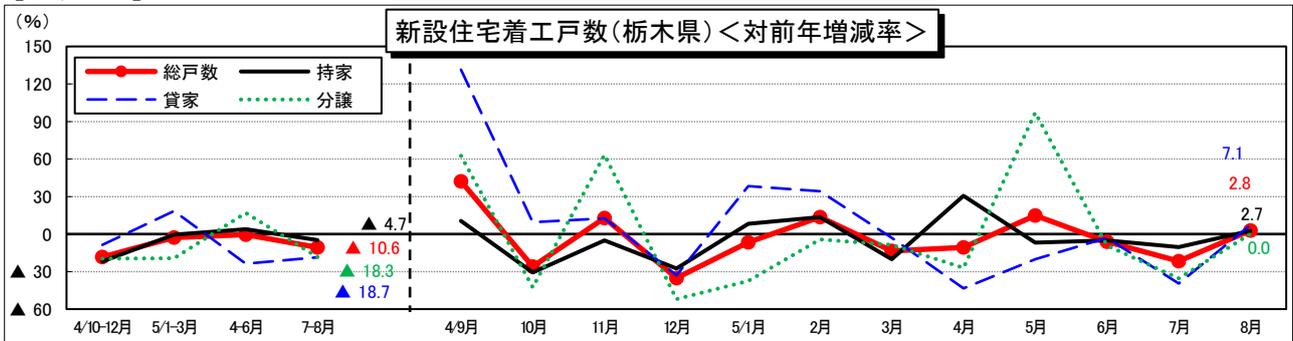


出典：「法人企業景気予測調査(令和5年7～9月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

7. 住宅建設

前年を下回っている

[グラフ14]

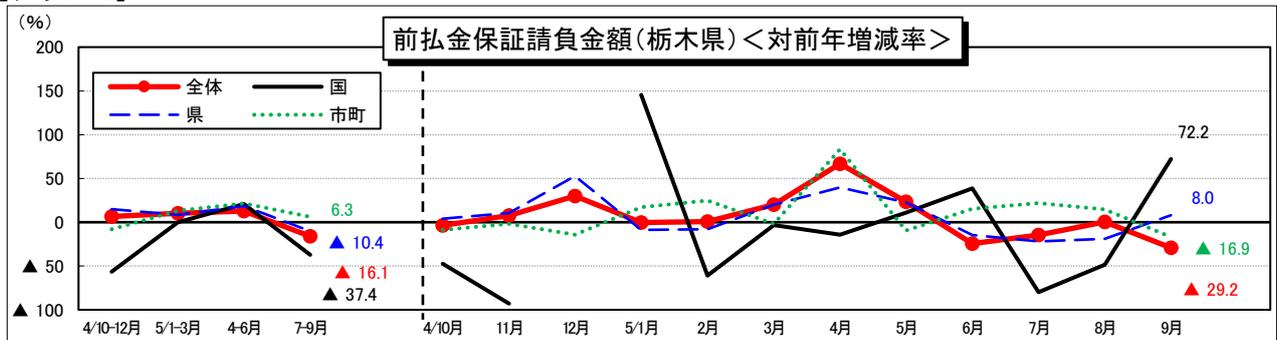


出典：「住宅着工統計」(国土交通省)を加工

8. 公共事業

前年を下回っている

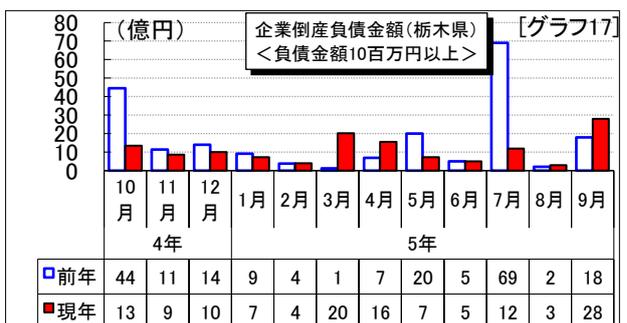
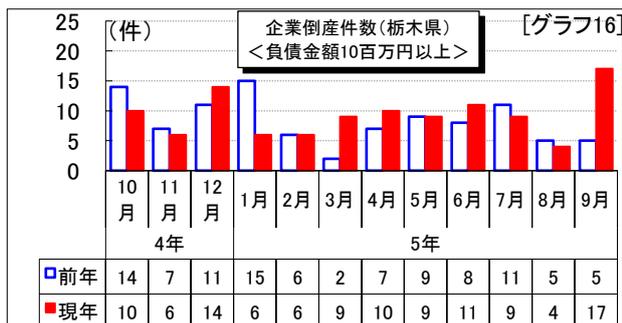
[グラフ15]



出典：「公共工事前払金保証統計」(北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)を加工
 (注)令和4年12月の「国」の前年比は、計算不能な数値のため、集計外としている。

9. 企業倒産

件数は前年を上回っているものの、負債総額は前年を下回っている



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工